

地域密着型金融の取組事例について

タイトル 担い手支援資金の創設

J A 名 J A 兵庫六甲 (兵庫県)

1 動機 (経緯)	組合員の世代交代が進むなか、農業資金を利用する際に J A だけでなく他行にも並行して相談するような事例が見受けられるようになってきました。これまで J A に優位性があった農業資金においても次世代の組合員の要望に応え得る体制・商品性等が求められており、従来の農業資金とは異なる新しい資金を創る必要がありました。
2 概要	最高 5 0 0 万円までの無担保融資かつ低金利での運用を行うことで他行に負けない商品性を持たせています。また、把握した情報を基に経営相談センターや営農経済事業部の担当者と組合員とが相談して経営計画を作成することでコンサルティング機能を発揮し、併せて貸出枠を設定することにより迅速な融資を行うことで、組合員の信頼を獲得して組合員離れの防止および J A の総合利用に繋げることも目的にしています。
3 成果 (効果)	新しい形態の貸付であるため、当面は本店の担当部署を通じた取扱いに限定しています。平成 2 2 年度、平成 2 3 年度、平成 2 5 年度に各 1 件ずつ実績が上がり、今後も相談に応じて対応していきたいと考えています。
4 今後の 予定 (課題)	現在は本店の担当部署が中心となって対応していますが、スキームを定着させることによって、最終的には各店舗により対応可能な体制づくりを進めたいと考えています。また、組合員満足を徹底するためのフォロー活動や、様々な要望に応え得る職員のスキルアップも検討しています。

① 営農相談から資金ニーズを把握

組合員と経営計画の作成

② 記帳代行

組合員と経営計画の作成

③ 経営計画受けた迅速な融資

自己査定によるリスク管理

④ J A への信頼増加

他の事業の利用促進

